

臨床教授特別講演のお知らせ

岡山大学歯学部 歯科矯正学分野 臨床教授

日浦 賢治 先生 日浦矯正クリニック (福岡市)

平成26年9月4日 (木)

第一部 (学生対象) 16:20~17:20

第二部 (職員対象) 17:40~18:40

歯学部4F 第一講義室

第一部：上顎前突症の治療について

上顎前突症を前歯および顎骨の前後的不正状態から大別すると、高橋の上顎前突分類（垂直方向の不正状態分類はできない）では、第1類 上顎前歯の唇側転位(唇側傾斜を含む)、第2類 下顎前歯の舌側転位、第3類 上顎歯列弓の近心転位、第4類 下顎歯列弓の遠心転位、第5類 1, 2, 3, 4類の合併症、に分類できる。その中で日本人に多い上顎前突症は、第1類と第4類の合併症で、重度の第3類に遭遇することは希である。

そこで私共のクリニックにおいて実際に行っている下顎骨後退症に対する治療方法を供覧し、治療成績の評価をもとに難治性2級症例の特徴について考察したいと思います。

1. 上顎前突症の治療例

第一小臼歯 4本抜歯症例

変則抜歯成人症例

下顎骨成長促進を行った症例

2. 重度下顎骨後退症の発症機序に関する考察

3. 考察をもとにした治療方針の立案について

第二部：難治性2級症例の治療について考える

1. 難治性2級症例の発症時期と形態的特徴について

2. 難治性2級症例の治療方針について

本セミナーは岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の「研究方法論」の授業に出席したとみなされます。研究科および病院スタッフのご参加を歓迎します。

岡山大学医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野 教授 上岡 寛
(連絡先：柳田 剛志 内線 6692)